

第1 地域の概況

1 人口及び産業経済の動向及び見通し

(1) 総人口、世帯数及び産業別就業人口の動向及び見通し

単位：人、世帯、％

	総人口		総世帯数		産業別就業人口				
		うち農 家人口		うち 農家	総就業 人口	第1次	うち農業	第2次	第3次
平成22年	82,289 (100)	15,473 (7.4)	27,577 (100)	4,355 (15.8)	42,119 (100)	4,529 (10.8)	4,525 (10.7)	16,568 (39.3)	20,826 (49.4)
平成27年	79,539 (100)	11,801 (14.8)	27,949 (100)	3,741 (13.4)	40,787 (100)	3,839 (9.4)	3,827 (9.4)	14,693 (36.0)	20,229 (49.6)
令和2年 (現在)	78,221 (100)	11,605 (14.8)	30,218 (100)	3,679 (12.2)	40,111 (100)	3,775 (9.4)	3,764 (9.4)	14,450 (36.0)	19,894 (49.6)
令和12年 (見通し)	69,625 (100)	10,330 (14.8)	35,324 (100)	3,275 (9.3)	35,703 (100)	3,360 (9.4)	3,350 (9.4)	12,862 (36.0)	17,708 (49.6)

- 注) 1 市町村行政区域に関する数字である。
2 ()は構成比である。
3 就業人口は「分類不能の産業」を含むため、第1次、第2次、第3次産業人口の合計とは合致しない。
したがって、構成比については、合計が100%にならない場合がある。
4 資料：総人口、総世帯数、産業別就業人口・・・国勢調査
うち農家人口、うち農家・・・農林業センサス
5 見通しについては、総人口は国立社会保障・人口問題研究所の『日本の地域別将来推計人口』（平成30
(2018)年推計）から、その他の項目については、総人口の増減率を採用した。

(2) 産業別生産額の動向及び見通し

単位：百万円、％

	産業別生産額				
	総生産額 (要素費用表示)	第1次		第2次	第3次
			うち農業		
平成22年	362,882 (100)	10,698 (2.9)	10,698 (2.9)	179,720 (49.5)	170,607 (47.0)
平成27年	379,514 (100)	11,590 (3.1)	11,590 (3.1)	196,051 (51.7)	168,901 (44.5)
令和2年 (現在)	396,146 (100)	12,482 (3.2)	12,482 (3.2)	212,382 (53.6)	167,195 (42.2)
令和12年 (見通し)	429,410 (100)	14,266 (3.3)	14,266 (3.3)	245,044 (57.1)	163,783 (38.1)

- 注) 1 ()は構成比である。(総生産額を除く)。
2 資料：平成30年度栃木県市町村民経済計算、真岡市統計書
3 令和2年度、令和12年度の生産額は、平成22～27年度の変化率から予測（直線回帰）している。

2 地域の開発構想

(1) 地域の都市化及び工業化の動向

本市は栃木県の南東部に位置し、面積は東西約 14.9km、南北約 19.4km の約 167.34km² で人口 78,221 人（令和 2 年国勢調査より）が暮らしている。東京から約 90km 圏にあり、北関東自動車道と国道 408 号鬼怒テクノ通りが交差する交通の要衝である。

年間の平均気温は 13.0 度、平均降水量は 1275.9 mm。雪はときどき降る程度であり、比較的温暖で暮らしやすい気候である。

かつては農業が産業の基盤であったが、現在は 94 社におよぶ企業が操業する大規模な工業団地を有するハイテク都市として発展したことで、農業・商業・工業がバランスよく調和した理想的な地方都市を形成している。

(2) 道路等の建設

本市の都市計画道路は、平成 30 年 4 月 1 日現在、改良延長は 99,505m、改良率は 87.0%であり、栃木県内では高い整備率であるものの、市街地内の一部区間で通勤時などに混雑の発生している区間がある。また、市街地内には、長期にわたり未整備となっている都市計画道路もある。

(3) 産業振興

①農地

農業の振興を総合的に図る地域を農業振興地域とし適正に管理し、優良農地の確保と荒廃農地の解消と発生防止に努めることで農地の効率的な利用を図る。

貴重な食料生産の場であるとともに地域住民の生活の場である豊かな農村地域の集落環境の保全に努める。

②森林

緑に囲まれた本市に、ゆたかな水と空気を与えてくれる森林は、安心で安全な環境をつくるとともに、地球温暖化の防止にも貢献する等、多面的・公益的な機能があり、今後も貴重な森林環境の保全に努める。

(4) 地域開発

真岡インターチェンジ周辺地区は、本地区内を通過する北関東自動車道の沿線開発を推進する拠点地に位置付けられ、地域の活性化と新たな街づくりの実現に向けて事業を推進しているところであり、本事業によって、周辺の自然環境等と調和した産業・業務拠点、研究・開発拠点、広域流通拠点などを形成するとともに、良好で快適な居住機能の整備を行う。

3 農業関係法令に基づく各種農業振興計画の概要

計 画 等 名	地域指定・計画策定等年度	指定地域等の 範 囲	内 容
酪農・肉用牛 生産近代化計画	令和3年11月	真岡市	畜産物の安定供給を目的とし、環境問題にも配慮しながら経営体育成、合理化・高度化を図り、品質の向上及び生産性の向上を図るもの。
農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想	令和3年9月	真岡市	10年後の農業経営基盤の強化に関することを目標とし、効率的かつ安定的な農業経営を図る。
令和3年度真岡市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン	令和3年度	真岡市	令和5年度を目標とした水田農業の方向性を示すとともに、土地利用型農業を推進し、作物の作付け及び販売目標を示す。
農業振興地域整備計画	平成24年2月	真岡市	農業の振興を図るべき地域を指定し、農用地の保全、各農業施策を計画的に推進する。
第3期 食育推進計画	平成29年4月	真岡市	市民と連携を図り、すべての市民の健康を目指し、食育の普及・啓発を推進する。

4 農業関係以外の法令に基づく地域等の指定状況

地 域 等 の 名 称	指定等年月日	根 拠 法 令
宇都宮都市開発区域 (真岡市・旧二宮町)	昭和41年5月30日	首都圏整備法 都市計画法
宇都宮都市計画区域 (真岡市・旧二宮町)	昭和45年8月4日	都市計画法
宇都宮都市計画市街化区域及び 市街化調整区域 (真岡市・旧二宮町)	昭和45年10月1日	都市計画法
宇都宮都市計画用途地域 (真岡市・旧二宮町)	昭和47年3月1日	都市計画法
宇都宮テクノポリス区域 (真岡市)	昭和59年5月21日	高度技術工業集積地域 開発促進法
宇都宮地域集積促進計画 (真岡市)	平成6年1月31日	頭脳立地法
新事業創出促進法に基づく栃木県高度技術産業集積活性化計画対象地域 (真岡市)	平成12年8月	新事業創出促進法
騒音・振動の規制地域 (真岡市)	平成24年4月1日	騒音規制法、振動規制法
宇都宮都市計画 (宇都宮都市域の全部、鹿沼市域の一部、真岡市域の全部、上三川町域の全部、芳賀町域の全部、壬生町域の全部、高根沢町域の全部)	平成28年3月	都市計画法